

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1571000320		
法人名	社会福祉法人 苗場福祉会		
事業所名	グループホームゆきんこ(2ユニット共通)		
所在地	新潟県十日町市四日町1332番地		
自己評価作成日	令和5年9月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=1571000320-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和5年10月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・お客様それぞれの役割作りに取り組んでいる ・お客様だけでなく、職員も楽しめる企画をたてている ・研修や勉強会などのバックアップ体制が出来ている ・グループホームで行える看取りケア

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>○法人と連携した身体拘束・虐待防止についての取組</p> <p>事業所は医療・福祉事業を広く展開している社会福祉法人を母体として平成15年に開設されたグループホームである。デイサービスセンターを併設し、委員会活動など他の事業所との連携が密に図られている。法人の高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会が設置され、事業所の職員もメンバーである。職員は毎月「身体拘束チェックシート」でケアの振り返りを行い、委員会で集計した後法人全体と部署単位で報告している。また、職員会議の中で、どんなケースが身体拘束にあたるのか全職員対象にeラーニングで学び、研修終了後報告書を提出して日々のケアに活かせるよう取り組んでいる。更に管理者は職員へ意見や気づき求め、毎月の部署会議で検討しながら、身体拘束につながるような言葉がけや不適切ケア、適切ケアについて皆で確認している。事業所は2階に位置しているが、利用者は自由に外に出られる環境で、外に出かけたい利用者に対しては見守りや付き添いなど意思を尊重し柔軟に対応している。また、法人の取り組みで「不適切ケアをしたことはありませんか、どういった状況ですか」等のアンケートが実施されるなど、法人のバックアップ体制のもと、管理者と職員が一体となって身体拘束・虐待防止に取り組んでいる。</p> <p>○ゆったりとした生活環境とその人らしい暮らしの継続支援</p> <p>豊かな自然に恵まれた環境の中、室内は随所にゆとりのある空間が広がり、天窗からの日差しが心地よい明るい空間が広がっている。居室意外に利用者は一人で過ごせる居場所があり、時節柄11月のハロウィンなど季節を感じる貼り絵や作品が飾られ、植木や花などを置き、安全面にも配慮しながら環境作りを行っている。広いバルコニーで利用者と職員は洗濯物を干したり気候の良い時にはお茶を飲み、アットホームな環境の中で安らぎを感じながら過ごすことができる。居室には思い出のある過去のロフィーや家族の位牌、写真など大切な品々が置かれている。利用者は日々自分の好きなコーヒーメーカーで淹れたてのコーヒーを楽しむ方、趣味のパッチワークやクロスワードパズルに取り組む方など、職員は個々のこだわりやペース、リズムを大切に一人ひとりに寄り添い、その人らしく心地良く暮らしが継続できるよう取り組んでいる。</p>
